

第140回神奈川大学日本常民文化研究所研究会



# 移築・復原された 旧渋沢栄一・篤二・敬三邸について

内田 青蔵氏

神奈川大学日本常民文化研究所 所員  
建築学部 特任教授

日時: 2024年7月17日(水) 17:30~19:00

開催形式

対面: 横浜キャンパス 9号館12室

オンライン: Zoomミーティング

対面にて参加の  
場合は申込不要

オンライン参加 申込フォーム

申込み後、IDと  
パスコードが自  
動返信メールに  
て送信されます。



# 移築・復原された 旧渋沢栄一・篤二・敬三邸について

渋沢栄一は、明治9(1876)年、深川福住町(現在の江東区永代)の屋敷を購入し、移り住んだ。渋沢敬三は、栄一の孫として明治29年この屋敷で生まれ育った。

一方、父の篤二は明治41年に屋敷を解体し、入手した三田綱町に移築した。敬三もこの屋敷で生活し、やがてアチックミュージアムを開いた。そして、昭和5(1930)年には、栄一の建てた「表座敷」を残し、伝統的な和館部を取り壊し、新たに洋館部を設け、戦前期の上流層の住宅形式としての和洋館並列型住宅に作り替え、洋館部にある書斎や応接間で一層常民研究へと向かった。今回は、こうした敬三の住まいの歴史を通し、敬三の日常生活の様子を垣間見てみたい。